

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
1	1970年6月(昭45)	会誌名改称のごあいさつ	高木 国栄	表紙裏	阿刀田 稔子	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		類義語考(その4)	浅野 百合子	2			
		日本語教授法講座(その1)	浅野 鶴子	10			
		問題点を中心とした表現の指導-1	池尾 スミ	14			
		ある日の作文指導	河野 喜美子	24			
		学習者の立場から-発音(下)-	ウィリアム・クレラー	27			
		日本のことばとところ(その6)	山下 秀雄	34			
		対談-長沼先生と日本語教育		60			
		皆様からのおたより		71			
		総会報告		73			
2	1970年12月(昭45)	類義語考(その5)	浅野 百合子	1	阿刀田 稔子	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教授法講座(その2)	浅野 鶴子	9			
		問題点を中心とした表現の指導-2	池尾 スミ	15			
		日本のことばとところ(その7)	山下 秀雄	28			
		<対談>-長沼先生と日本語教育		39			
		<座談会>学習者の立場から(上)-教材について-	阿刀田 稔子	59			
		てにをは随想(6) -「の」について-	高橋 晶子	69			
		お知らせ		72			
3	1971年6月(昭46)	類義語考(その6)	浅野 百合子	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教授法講座(その3)	浅野 鶴子	13			
		日本のことばとところ(その8)	山下 秀雄	27			
		<対談>-長沼先生と日本語教育		40			
		<座談会>-学習者の立場から(下)-教室作業について-		50			
		<お答え>「ございます」と「いらっしゃいます」	編集部	62			
		昭和45年度総会報告		65			
		お知らせ		68			
4	1971年12月(昭46)	問題点を中心とした表現の指導-3	池尾 スミ	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教育史ノート(1)	木村 宗男	11			
		日本語教授法講座(その4)	浅野 鶴子	18			
		日本のことばとところ(その9)-話し言葉の音声と心理-	山下 秀雄	30			
		長沼先生と日本語教育		50			
		てにをは随想(7)-「ばかり」と「だけ」-	阿刀田 稔子	61			
<お答え>「~のです」「~ので」「~のでしょう」のグループについて	編集部	69					

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
5	1972年6月(昭47)	問題点を中心とした表現の指導—4	池尾 スミ	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教育史ノート(2)	木村 宗男	17			
		日本語教授法講座(その5)	浅野 鶴子	22			
		音節と拍	森 清	42			
		日本のことばとところ(その10)—文章のしくみ—	山下 秀雄	51			
		<良書紹介>	森 清	73			
		<お答え>1.「ちがう色」と「ちがった色」2.「望まれない」と「望めない」	編集部	75			
6	1972年12月(昭47)	類義語考(その7)	浅野 百合子	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教授法講座(その6)	浅野 鶴子	5			
		「言語と言語学習」を読んで	森 清	25			
		日本のことばとところ(その11)—動詞をめぐって—	山下 秀雄	42			
		てにをは随想(7)—「に」と「で」—	阿刀田 稔子	54			
		<質問箱>—コップをおとせばどうなりますか—	編集部	63			
7	1973年6月(昭48)	長沼直兄先生追悼号			財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		弔辞		2			
		追悼のことば		7			
		日本語と外国人の為の日本語教育	中村 米男	44			
		日本語教授法講座(その7)	浅野 鶴子	59			
		日本のことばとところ(その12)—動詞をめぐって—	山下 秀雄	70			
		<質問箱>—「しるる」、「ゆわえる」について—	編集部	79			
8	1973年12月(昭48)	パラグラフ作成について	池尾 スミ	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教育史ノート(3)	木村 宗男	13			
		日本語教授法講座(その8)	浅野 鶴子	20			
		日本語における語彙相互間の選択制限について	森 清	35			
		日本のことばとところ(その13)—対人関係の配慮—	山下 秀雄	41			
		<質問箱>動詞連体形+「には、のに、のには」について	阿刀田 稔子	58			
9	1974年6月(昭49)	日本語教授法講座(その9)	浅野 鶴子	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教育史ノート(4)	木村 宗男	16			
		理解の確認	山下 秀雄	21			
		標準語から見た沖縄	メリロ— 澄子	39			
		てにをは漫筆	阿刀田 稔子	42			
		ロシアの日本語教科書	桜井 良平	50			
		<質問箱>よくない、よくはないの相違について	編集部	53			

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
10	1974年12月(昭49)	音声教育の問題点(1)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教授法講座(その10)	浅野 鶴子	6			
		類義語考(その8)	浅野 百合子	12			
		「場」の設定(その1)	山下 秀雄	21			
		Georgetown University の日本語科	森 清	34			
		エリセーエフ	桜井 良平	37			
		<質問箱>「で」の用法について	阿刀田 稔子	43			
11	1975年6月(昭50)	音声教育の問題点(2)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		日本語教授法講座(その11)	浅野 鶴子	9			
		類義語考(その9)	浅野 百合子	13			
		「場」の設定(その2)	山下 秀雄	22			
		否定の接続法	阿刀田 稔子	33			
		ポルトガル語辞典の編纂者 大武和三郎	桜井 良平	46			
		お知らせ	日本語教師連盟	51			
12	1975年12月(昭50)	音声教育の問題点(3)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		類義語考(その10)	浅野 百合子	6			
		場の設定(その3)	山下 秀雄	19			
		「の」と「こと」について	中村 芳子	26			
		視聴解をささえるKey Wordを求めて	池尾 スミ	35			
		最終学年の作文における誤りについて(1)	竹下 節子	46			
		<質問箱>「見える」と「見られる」	阿刀田 稔子	52			
お知らせ	日本語教師連盟	59					
13	1976年6月(昭51)	音声教育の問題点(4)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		類義語考(その11)	浅野 百合子	8			
		「場」の設定(その4)	山下 秀雄	18			
		最終学年の作文における誤りについて(2)	竹下 節子	25			
		<質問箱>「動詞+ほうが…です」における動詞形について	阿刀田 稔子	43			
14	1976年12月(昭51)	音声教育の問題点(5)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		類義語考(その12)	浅野 百合子	9			
		日本語教授法講座(その12)	浅野 鶴子	17			
		「場」の設定(その5)	山下 秀雄	28			
		<教室での試み>	二見 直子	34			
		<学習者から>	ウルフ・レーダー	36			
		アルバータ大学で日本語を終えて	宮川 幸江	40			
スペインの日本語小史	桜井 良平	44					

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
15	1977年6月(昭52)	音声教育の問題点(6)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		文意決定の条件	山下 秀雄	9			
		インドネシアと日本	佐藤 静子	19			
		I. インドネシア人の日本語学習に際して		19			
		II. 私の見たインドネシア人		27			
		<学習者から>私とインドネシア	ヘルマント・ハルソルマクソ	36			
		<教室での試み>初心教師の学習	石井 典子	39			
16	1977年12月(昭52)	音声教育の問題点(7)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		露語と日・英両語を比べて	ウルフ・レーダー	9			
		タイ語とは	チンタナー・ヨンノーラセッタクン	16			
		西独の主都ボンに暮して	北沢 ひろ子	21			
		<学習者から>日本線	滝沢 クリスティーヌ	26			
		<授業ノートから>—接続—「が」と「で」など—	阿刀田 稔子	29			
		理解の限界—ヘルマント氏へ—	浅野 鶴子	36			
17	1978年7月(昭53)	音声教育の問題点(8)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		動詞とは	河野 喜美子	9			
		問答法について	浅野 鶴子	17			
		<視聴覚教室から>初歩の学生のために	砂川 俊子	25			
		占領地域で体験したこと	山口 正	36			
		『ナシヤーローガワツタノー』	チンタナー・ヨンノーラセッタクン	43			
		ポルトガル語による日本語参考書	桜井 良平	47			
		<質問箱>動詞の「て」形について	阿刀田 稔子	53			
		お知らせ		54			
18	1979年2月(昭54)	音声教育の問題点(9)	水谷 修	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		動詞文とは	河野 喜美子	13			
		聴解練習の一方法	浅野 鶴子	17			
		サンスクリットの「格」について —日本語学習の立場から見た—	永保 君恵	26			
		<対談>東京日本語学校の創設期—木村宗男先生に聴く—		36			
		お知らせ		45			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
19	1980年2月(昭55)	「蟻養い」の語学	栗原 成郎	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		音声教育と日本語教育	永保 澄雄	11			
		中国人に対する入門期の授業－ひとつの試み－	浅野 鶴子	15			
		<対談>東京日本語学校の創設期－木村宗男先生に聴く－		19			
		<学生の作文>むだぼねおりの猿たち	呉 香恵	28			
		日本の印象	ペドゥソ	29			
		「女はつらい」	ダイヤー	30			
		お知らせ		33			
20	1981年6月(昭56)	聴解指導の方法について	木村 宗男	1	財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		副教材の扱いについて	二見 直子	7			
		<対談>東京日本語学校の創設期－木村宗男先生に聴く－	浅野 鶴子	14			
		《日葡辞書》こぼればなし	宗像 寛	24			
		<あいさつのことば>	山中 須美子	30			
		<学生の作文>キリマンジャロ登山－1	ハンス・ルッター	35			
		お知らせ		39			
21	1983年11月(昭58)	浅野鶴子先生追悼号			財団法人言語文化研究所	日本語教師連盟 東京日本語学校気付	日之出印刷株式会社
		弔辞		3			
		追悼の記		6			
		Basic Japanese Course 第一課の導入について	浅野 鶴子	36			
		講演「芥川の作品に見られる日本的な表現」	金田一 春彦	39			
		副詞導入法研究－具体例「かえって」に見るSituationの重要性－	田頭 美智留	50			
22	1986年12月(昭61)	一般成人短期集中教育のカリキュラム・教材作成ならびに使用結果の分析の研究	沢井 康子、小林 郁美他	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		「長沼現代日本語－3」の作成にあたって	北澤 ひろ子	10			
		中国における日本語教育の概要	三門 準	13			
		日本での22ヵ月	レギーナ・ポルツ	42			
		作文特集①		49			
		日本研究実施報告	王 承思	49			
		滞日の一年間を振り返って	徐 漢橋	56			
		解説－両研修生と本校の授業について	大村 若代	63			
		作文特集②					
		作文における誤用の分析と矯正－教師養成講座の演習レポートをめぐって－	山下 秀雄	69			
		パラグラフ I, II, III, IV	戸田 まゆみ	86			
		パラグラフ V, VI, VII, 付記	川村 理恵子	99			
		雑感 日本語教育の現場から	山下 秀雄	118			
		別紙 作文特集② 資料		巻末			

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
23	1988年12月(昭63)	東南アジア日本語学校教育事情視察記	長沼 守人	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		昭和62年度日本語教育研究協力校としての調査研究について	言語文化研究所 東京 日本語学校 教科書作 成第1委員会	17			
		日本語の教授法について—中国での実践を中心に—	張 紀濤	73			
		東京日本語学校在校生による作文と作詩		113			
		言語への警戒心	Markus Jassen	114			
		味噌汁と日本人	尤 偉華	117			
		広島にて—日本語による作詩の試み—	方 遠	119			
		編集後記		127			
24	1990年10月(平2)	東京日本語学校開校40周年記念特集			財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		記念特集— I について	編集部				
		Product重視のコミュニカティブ・アプローチ—その実践と考察—	上野真理子、大河原尚 他	1			
		開校40周年記念シンポジウム開催に当たって(1989年11月)	長沼 守人	51			
		東京日本語学校の歩み	山下 秀雄	54			
		東京日本語学校年表		85			
		I 開校以前 1894-1947		86			
		II 開校以後 1948-1989		95			
		長沼直兄・言語文化研究所・東京日本語学校出版物概要		109			
		長沼直兄に宛てたパーマー書簡2通		115			
		ハロルド・E・パーマーによる長沼直兄『標準日本語讀本巻一』序文及び自筆草案の一部		117			
		編集後記		124			
25	1991年12月(平3)	『日本語教育研究』第25号の発行にあたって	<編集部>山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		桂三木助の嘸のまくら—我流・語彙調査『桂三木助 集』の用語—	白倉 健之	5			
		韓国—ハンゲル世代のコミュニケーション—	佐竹 小百合	23			
		異文化接触からみた日本語教育	飽本 直子	29			
		句読点(とくに読点)について	岩田 之男	37			
		韓国の教科書に見る日本と日本語教育	田中 ゆかり	53			
		東京日本語学校開校40周年記念特集— II 座談会 戦中・戦後初期の日本語教育を語る(第1回)—長沼直兄と 日本語教育振興会および草創期の言語文化研究所・東京日本語学校—	池尾 スミ、石黒 ヤヘ 子 他	63			
		卒業にあたって—卒業生答辞	(卒業生代表)ギルバート・ カカム	105			
		卒業生を送ることば	(在校生代表)蘇 恵明	107			
		編集後記		109			

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
26	1993年10月(平5)	長沼守人理事長の叙勲について		1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		東京日本語学校開校40周年記念特集Ⅲ 座談会 戦中・戦後初期の日本語教育を語る(第1回)―長沼直兄と日本語教育振興会および草創期の言語文化研究所・東京日本語学校―	池尾 スミ、石黒 ヤヘ子 他	63			
		授業におけるコミュニケーションの成立 ―教科書と授業のかかわり:『長沼新現代日本語』等をめぐって―	山下 秀雄	37			
		上級指導―特に新聞をどう教えるかについての―試案 (日本語教師連盟「学び合う会」レポート①)	中村 重穂	63			
		中国語(普通話)を第一言語とする日本語学習者のための日中漢字音対照研究	三好 理英子	87			
		スリランカにおける日本語教育―現状と課題、そして展望―	雄谷 進	103			
27	1994年4月(平6)	巻頭のことば	長沼 守人	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		学び合う会レポート					
		学び合う会から	三門 準	3			
		エジプトに於ける日本語教育	中村 重穂/中村 祐理子	5			
		夏季集中セミナーのお知らせ		27			
		投稿大歓迎		28			
		長期養成講座修了レポート		31			
		会話を教える	若杉 啓子	32			
		フォーリナー・トークにみる外国語としての日本語	向後 智子	37			
		精薄児の指導から外国人に日本語を教えることの一つの考察	石川 節子	45			
		動詞の自・他分類	松山 美津子	52			
		食卓の国際事情	丹羽 敦子	73			
		助詞・形式名詞・形式副詞について	奈良 幸子	77			
		日本語教育の理想と現実	吉田 朋子	91			
		日本語学習への韓国語(ハングル語)・中国語の干渉について	西山 陽子	99			
		教育実習における教案についての―考察	本多 裕子	105			
		中国残留日本人孤児問題について	藤井 邦雄	110			
		シンガポールにおける日本語学校訪問記	吉澤 達雄	117			
		寸言 ―億総日本語教師	水谷 修	50			
		第8回 進学科卒業式より 送辞	李 柄勲	129			
		〃 答辞	欧陽 文忠	131			
		クイズ 世界の常識、知っていますか?		90			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
28	1994年12月(平6)	非漢字圏での漢字教育・語彙教育を考えるーロシアの日本語教育の現場からー	稲垣 滋子	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		アメリカにおける日本語教育と外国人への英語教ー文部省派遣「海外日本語教育事情調査」レポートー	山下 秀雄	31			
		寸言 『青年期にある日本語教育』	徳川 宗賢	56			
		学び合う会レポート	三門 準	58			
		日本語教育における日・韓国語対象研究ー受身文を中心にー	鄭 寅玉	59			
		香港における日本語学校訪問記	吉澤 達雄	79			
		外務省特別研修プロジェクト報告		90			
		日本語教師長期養成講座修了レポート					
		養成講座と実践	松島 みどり	94			
		あるインターナショナルスクールでの子供のための日本語教育の現場から	坂本 あい子	103			
		朝鮮語を母語とする日本語学習者にみられる発音上の基本的な問題点	大水 利之	109			
		おさらいカルタ	岩城 陽子	125			
		第51回 夏季集中セミナー報告		132			
		投稿大募集		134			
29	1995年4月(平7)	誤用研究ー I			財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		音声と表記にみられる誤用傾向をめぐってー日本的音感把握の問題を外来語等の誤用例からさぐるー	山下 秀雄、高橋 昌子、橘田 滋子	1			
		寸言 『異文化間理解と漢字教育』	カイザー、シュテファン	54			
		日本語教育におけるボランティア活動を考えるー鶴見区役所主催「日本語教室」を手がかりにー	山下 秀雄	56			
		鶴見区役所主催 日本語教室の現状と課題	関 美智子	69			
		講座を担当して感じたこと	岡田 徳子	73			
		ボランティアによる日本語教育について	三門 準	75			
		外務省外国青年日本語研修修了パーティーにおける3人の研修生のスピーチ		91			
		日本語学習に関する台湾専科学校生へのアンケート調査報告	菊池 民子	97			
		北京第二外国語学院における日本語教育紹介	松島 みどり	109			
		卒業生・在校生のスピーチから		115			
		夏季セミナーのお知らせ		120			
		投稿大募集		122			

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
30	1995年12月(平7)	1995年度夏季集中セミナー 第9回特別講座 対照言語学研究 日本語と韓国語	金 東俊	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		伝統的日本語教授法(第1回)ー長沼直兄と鈴木忍の場合ー	豊田 豊子	51			
		現代日本語教育の源流をたずねて(i)ー教科書・教授法の関係、音声言語・談話構造への着目などー	山下 秀雄	87			
		台湾の大学生の日本に対する意識調査ー銘傳管理学院の場合ー	王 敏東	119			
		文学作品の教材化 宮沢賢治「注文の多い料理店」を例に	三門 準	135			
		卒業生・在校生のスピーチから		146			
		中国北京市の中等教育事情ー職業高校紹介ー	松嶋 みどり	149			
		自・他動詞および態の諸相についての一考察	成富 嵯智夫	159			
		日本語教師連盟「学び合う会」 BJE中間報告	平木 宏育	173			
		投稿大募集		175			
31	1996年5月(平8)	現代日本語教育の源流をたずねて(Ⅱ)ー教科書と教授法、言語観と指導技術、日本語教育の系譜などー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		伝統的日本語教授法(第2回)ー長沼直兄と鈴木忍の場合ー	豊田 豊子	33			
		NAGANUMA“Survival Japanese”の作成に携わって	高橋 晶子、橋田 滋子	61			
		寸言 『異文化共生のためのコミュニケーション 教育とその支援者』	長谷川 恒雄	68			
		新校舎建築中間報告	長沼 美奈子	70			
		1995年度 外務省外国青…日本語教育研修 研修生修了スピーチ		75			
		日本語教師連盟「学び合う会」BJE第2回報告	田中 一 亮	109			
		中国の『大学日本語専攻の基礎段階の指導要領』と日本の『日本語能力試験出題基準』を比較して	林 洪	113			
		投稿大募集		150			
32	1996年11月(平8)	現代日本語教育の源流をたずねて(iii)ー教宣教師との関わり、初期の学習法、指導の理論と授業の実際ー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		[座談会]第二次大戦下と戦後初期における日本語教育(I)ー戦中期の語彙調査と現存資料の発見、教科書作成との関連ー		30			
		伝統的日本語教授法(第3回)ー長沼直兄と鈴木忍の場合ー	豊田 豊子	47			
		寸言 『いろはにほへと』	光田 明正	82			
		新しい校舎ができました	長沼 美奈子	84			
		台北市内における日本語補習教育について	王 敏東	86			
		日本語の音声破裂音の習得上の問題点とVT法を使った発音矯正ー北京方言を母語とする中国人日本語学習者を対象としてー	福岡 昌子	97			
		香港人にとっての日本語学習ー側面から見た日本語学習ー	松嶋 みどり	111			
		日本語とウズベク語の比較	孫崎 紀子	115			
		投稿大募集		148			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
33	1997年5月(平9)	現代日本語教育の源流をたずねて(iii)ー長沼直兄の出発とその教科書・授業の実際をめぐってー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		[座談会]第二次大戦下と戦後初期における日本語教育(Ⅱ)ー長沼直兄の教科書と日本語教育振興会、大陸と南方の日本語教育ー		40			
		阪神大震災被災地のボランティア日本語学習支援ー被災ベトナム人日本語教室の営みー	湯口 恵	77			
		寸言 『ことばの理解から教育を考える』	森田 良行	80			
		大学生の敬語意識ー丁寧さと親しさの調節についてー	深尾 まどか	82			
		日本語学習者の漢字学習ストラテジーに関する調査と考察	中村 重穂	107			
		日本語における和製外来語の造語方法及びその特徴		131			
34	1997年11月(平9)	現代日本語教育の源流をたずねて[続編](i)ー昭和初期の長沼直兄の日本語教科書と米大使館との関係ー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		復刻シリーズ第1回 解説		39			
		寸言 『東西の書きぶり』	西原 鈴子	72			
		ブラジルでの日本語指導ー外国語としての日本語教育への移行をめぐってー	鈴木 潤吉	74			
		日本語と韓国語の可能表現についてー日本語の可能表現からみた韓国語の可能表現の形式と意味についてー	鄭 寅玉	94			
		自らの言語観/言語教育観を振り返って	大河原 尚	111			
		台湾におけるビジネス日本語関係の教材について	王 敏東	128			
投稿大募集		142					
35	1998年5月(平10)	現代日本語教育の源流をたずねて[続編](ii)ー戦中期へと向かう時代的背景と長沼直兄の日本語教育ー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		太平洋戦争中の米国における日本語訓練計画とその影響	高見澤 孟	20			
		太平洋戦争中(1941ー42年)の言語教育 James C.McNaughton	訳 高見澤 孟	47			
		復刻シリーズ第2回 解説		64			
		目次にみる日本語の教科書の流れ	豊田 豊子	93			
		中近東初の日本語教員養成課程にかかわってー日本語教育学科定着への第一歩ー	雄谷 進	119			
		明知大学日本語科のシステムについて	斉藤 麻子	139			
投稿大募集		147					
36	1998年11月(平10)	現代日本語教育の源流をたずねて[続編](iii)ー日本語教育振興会と『ハナシコトバ』の時代的背景ー	山下 秀雄	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		復刻シリーズ第2回 解説		33			
		寸言 『ビザなし交流』	上野田鶴子	54			
		ナガヌマスクール開校50周年記念行事報告		56			
		第1回 海外実践セミナー報告		61			
		海外での文化摩擦による日本語教科書の展開ー戦前でのハワイ教育会の場合ー	芥川 昭寿	66			
		社会的言語としての日本語を理解するために	山口 隆正	81			
		台湾における“観光日本語”関係の教材について	王 敏東	93			
		「日本事情」教育についての一考察ー異文化間コミュニケーションの観点からー	伊藤 孝恵	105			
		投稿大募集		111			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
37	1999年6月(平11)	これからの日本語学校と学生支援	佐藤 次郎	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		山下秀雄氏を悼む	長沼 美奈子	15			
		「教育技術研修センター」完成間近	長沼 美奈子	18			
		中国における大学レベルでの日本語教育をめぐる	王 詩栄・岡崎智己	23			
		ビジネスにおける敬語的表現の使用意識についての日中対照研究 -「伺う」と「拜訪」を中心に-	川合 理恵	36			
		日本語と国際化	黄 海存	59			
		幼児に対する日本語教育-台北市内の幼稚園を対象に-	王 敏東	73			
		異文化間で編纂された日本語教科書の展開-戦後におけるハワイ教育会での視点-	芥川 昭寿	83			
		帰国した「中国残留邦人」への日本語教育について-その現状と諸問題-	松嶋 緑	107			
		投稿大募集		149			
38	1999年12月(平11)	東京日本語学校におけるコンピュータ利用の試み~現場からの報告~	岩田 之男	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		復刻シリーズ第2回 解説		14			
		追悼 山下秀雄先生					
		山下秀雄先生を想う	今田 滋子	42			
		山下秀雄先生への追悼の言葉	遠藤 波止	44			
		山下先生追悼文	松嶋 みどり	46			
		海外研修セミナー関連					
		台湾淡江大学日本語科学生との交流	高津 康子	48			
		第2回 日本語教師海外研修セミナーに参加して	吉澤 達雄	51			
		台湾・淡江大学日本語文学科紹介	陳 伯陶	56			
		韓国語及び日本語母語話者の作文評価の比較-ポライテネスの観点からの考察-	山下 みゆき	60			
		台湾で高校生用日本語教材を編集して	新井 芳子	73			
		終助詞「よね」について	深尾 まどか	90			
		台湾における科学技術日本語教育について	王 敏東	99			
39	2000年6月(平12)	コミュニケーション中心の日本語教育を考える	高見澤 孟	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		目的を表す「ために」「ように」の使い分け	升岡香代子/鹿野 千晴	14			
		東京日本語学校におけるコンピュータ利用の試み~現場からの報告2~	岩田 之男	29			
		復刻シリーズ第2回 解説		47			
		色丹島での日本語授業	阪本 史代	89			
		台湾の日本語学科における「翻訳」関係の科目について	王 敏東	96			
投稿大募集		111					

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
40	2000年12月(平12)	2000年度日本語教師夏季集中セミナー 第14回特別講座 日本語教育における日・英語対照研究	西原 鈴子	1	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		「日本語教師のためのマルチメディア教室」報告	藤本 かおる	49			
		浅野鶴子先生によるBASIC JAPANESE COURSEの教授法講演(1)		57			
		日米文化交流の課題－高度日本語能力を持つアメリカ知日派の養成－	田中 稔久	82			
		コミュニケーション能力の向上に向けて－「テレビ番組の生ビデオ」の視聴を通してその可能性を探る－	新井 芳子	111			
		海外における初等中等日本語教育のための昔話日本劇 オーストラリアでの試み	菊池 民子	127			
		投稿大募集		136			
41	2001年6月(平13)	言語教育法の原則と直説法 ー長沼直兄の未発表論述原稿	豊田 豊子	1	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		問答法と言語教育理論	高見澤 孟	10			
		浅野鶴子先生によるBASIC JAPANESE COURSEの教授法講演(2)		34			
		日米文化交流の課題－米国初・中等日本語教育の確立と高度日本語能力の育成に向けて－	田中 稔久	47			
		オーストラリア・タスマニア州における初等日本語シラバス作成に参加して	菊池 民子	81			
		就職市場における日本語能力の位置付け	王 敏東	99			
		日本語学習者のピリーフについての意識調査－中国首都師範大学の場合－	尹 松	115			
		日本語教育研究誌第1号～第40号 目次リスト		130			
投稿大募集		158					
42	2002年3月(平14)	日本語教育のための日・英語対照研究－2001年日本語教師夏季集中セミナー特別講座講義録－	西原 鈴子	1	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		浅野鶴子先生によるBASIC JAPANESE COURSEの教授法講演(3) ー1973年日本語教師夏季養成講座より－	松下 嘉昭	53			
		タイで、日本語を学ぶ人たち ー第3回「日本語教師海外研修セミナー」報告－	鈴木 公子	73			
		中国における日本語教育とマルチメディア	王 保田	81			
		日本語の相づちに関する一考察	郭 末任	111			
		投稿規定		124			
43	2002年8月(平14)	長沼守人前理事長追悼		1	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		長沼守人理事長へのインタビュー(兄・長沼直兄を語る) 出席者:長沼守人・関正昭・長谷川恒雄・豊田豊子・長沼美奈子		21			
		ある日本語教育史ー長沼直兄・守人の戦前における日本語教育ー	高見澤 孟	47			
		教授法に関する現在の考察	高見澤 孟	68			
		ナイデ/ナクテの使い分け I ーナイデ/ナクテの用法が固定している場合ー[日本語教育での扱い]	阿曾沼操、塩田安佐他	77			
		構造シラバスへのTBLT組み入れに向けての予備調査ー東京日本語学校イブニングクラスでのARを通してー	松本 剛次	91			
		タイにおける日本語教育ー民間教育の担う役割ー	河島 久枝	104			
		投稿規定		116			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
44	2003年3月(平15)	長沼守人前理事長追悼		1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		ある日本語教育史ー長沼直兄・守人の戦中戦後における日本語教育ー	高見澤 孟	35			
		問答法をめぐって	豊田 豊子	56			
		「たい」「ほしい」「てほしい」に関する中国語話者の問題点	呂 惠莉	74			
		作文教材における意見文の指導法の分析	山下 みゆき	95			
		投稿規定		109			
45	2003年8月(平15)	視聴覚的手法を用いた文学教材の利用	三門 準	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		ナイデ/ナクテの使い分けⅡ ー意味によりナイデ/ナクテを使い分ける場合ー[日本語教育での扱い]	阿曾沼操、塩田安佐他	13			
		ドラマ・メソッドを使った日本語会話クラスの試みーポーランド国立ヤギェウォ大学の事例ー	本間 淳子	32			
		映像教材における謝罪表現ー学習者ば「気づき」の観点からのー考察ー	新井 芳子	41			
		台湾の高校における日本語教育に関する実践報告ー桃園高校の場合ー	陳宗慶・陳怡如 他	67			
		報告「東北師範大学対外経貿学院における日本語教育の現状及び中国吉林省長春市の大学機関に見られる諸問題」	山口 真里子	89			
		マルチメディア教室のご案内		115			
		投稿規定		118			
46	2004年2月(平16)	Understanding of Gestures for International Professionals	Wu Yulun/Junkichi Suzuki	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		コンピュータ日本語入力練習での発音認識	藤本 かおる	12			
		読解中の意味の推測ー留学生は「蒸発する」をどう理解したかー	菊池 民子	21			
		漢語母語圏における日本語関係の書籍の交流ー台湾⇄中国大陸・香港を中心にー	王敏東・鄭惠如	35			
		外国人に対する待遇表現教育の理論ー表現に至る過程の重要性についてー	尾崎 学	47			
		投稿規定		58			
47	2004年8月(平16)	E-Learning 学習理論の研究	高見澤 孟	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		寸言 多言語共生社会の実現に向けて	西尾 珪子	18			
		異文化間における言語行動の相違ー日・台間の良好な関係が破綻したケース・スタディーを通してー	新井 芳子	20			
		終助詞の男女による使い分け	深尾 まどか	43			
		接触場面においてなぜフォリナー・トークは使用されるのかーアコモデーション理論の観点からー	池田 広子	69			
		日本語学習者の語る日常実践ー初級のビジネス関係者の事例ー	本間 淳子	83			
		台湾で村上春樹『ノルウェイの森』を読む	横田 隆志	94			
		ピア活動を取り入れた授業の効果に関するー考察ーインドネシアの大学でのアクションリサーチを通してー	松本 剛次・Yuddi A Mul	105			
		投稿規定		121			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
48	2005年1月(平17)	外国人労働力受け入れ問題と日本語教育	高見澤 孟	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		寸言 多文化共生社会に対応した日本語学習支援活動の充実に向けてー夢を語り合うことの重要性ー	野山 広	30			
		体験的方言学ー“音の違い”に気付いた女子ー	長沼 美奈子	33			
		学習者主体の総合的日本語学習をめざしてーTheme-based CBIによる授業の報告ー	原 やす江	46			
		中国東北三省朝鮮族の学校教育と日本語	金 華	71			
		中国における第二外国語としての日本語教育ー四川師範大学を中心にー	舒 斌	80			
		台湾人学習者向けの日本語タイピング教材の提案	林 高德	88			
		投稿規定		101			
49	2005年8月(平17)	授業分析による発話回数の「数字」から見えてくるものー質問、反応、非訂正を中心にー	平木 宏育	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		楽しかった学園生活ー我が師・わが友との出会いー	長沼 美奈子	26			
		韓国語母語話者に対する初級用文法教材作成の試みー『Japanese for Beginners in 25 Situations-ながめま25-』をもとにー	今井 祥子	44			
		「らしさ」のない教室:低文脈状況での日本語の使用と教師の実践	鈴木 有香	57			
		読解能力の養成を中心に据えた授業ー社会科学系の学部日本語教育ー	伊藤 恵美子	63			
		台湾の大学における 日本語マルチメディア教材の利用について	黄 淑妙	73			
		日本語能力試験における3、4級「読解」テキストの分析ー「文字・表記」及び「語彙」を中心にー	王 敏東・郭 晏汝	87			
50	2006年6月(平18)	コミュニケーション能力育成の研究	高見澤 孟	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		寸言 <弱さ>を核とした地域づくり試論ー<衰弱>の意味を問いつづけてー	春原 憲一郎	30			
		日本語学習者による日本語の応答語の使用実態に関する考察	王 宝鋒	32			
		中国朝鮮族における新しい日本語教科書作り	金 華	43			
		中国人学習者が間違えやすい日本語あれこれ	薛 紅玲	63			
		日本語能力試験における 1、2級「読解」テキストの分析	王 敏東・郭 晏汝	73			
		台湾における第三者敬語表現の指導の一試案	尾崎 学	87			
		初級口頭表現指導における聴解優先教授法の有効性	松嶋 緑	101			
51	2006年12月(平18)	漢字圏と非漢字圏出身の短期留学生在が混在する日本語授業	伊藤 恵美子	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		寸言 「会話」とは何かー「教科書」再考	川口 義一	8			
		評価項目の性質と評価者間個人差との関係が評価に及ぼす影響	成田 高宏	10			
		学習者の能動的参加を目指した上級読解授業の試み	近藤 有美	26			
		日本語能力試験における「読解」テキストの分析	王 敏東・郭 晏汝	40			
		「かもしれない」の婉曲表現としての機能分類について	黄 鈺涵	59			
		「～を終わる」と「～を終える」の意味領域に関する一考察	姚 艶玲	68			
52	2007年6月(平19)	長沼直兄による敗戦直後の日本語教師養成講座ー1945年度後半・「日本語教育振興会」から「言語文化研究所」へー	河路 由佳	1	財団法人言語文化研究所		三協印刷株式会社
		寸言 「美しい」ということ	嘉数 勝美	34			
		2006年度 日本語教師夏期集中セミナー第20回 日本語教育に生かす日・中対照言語研究「中国語と日本語・中国人と日本人」	陳 淑梅	36			
		文章理解における漢字語の音韻処理の重要性	高野 多江子	83			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
		台湾における「尊敬表現」の指導法について 一人間関係に応じた尊敬語動詞の使い分けー	尾崎 学	107			
53	2008年6月(平20)	長沼直兄らによる戦後早期の日本語教育のための調査研究ー1945ー1946「日本語教育振興会」から「言語文化研究所」へ	河路 由佳	1	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		寸言 日本語の習得研究は教師にとってなぜ必要か？ー韓国ドラマ「チャングムの誓い」と第二言語習得研究ー	迫田 久美子	44			
		エジプト人日本語学習者に対する音声教育ーアラビア語カイロ方言の特徴と日本語母語の指導ー	Hanan Rafik Mohamed	46			
		大学院留学生の文章課題遂行過程における管理プロセス ー文法外コミュニケーション行動の分析ー	宮崎 七湖	65			
		「のだ」「のか」の習得に日本語能力、および学習環境が与える影響ー中国人学習者を対象にー	趙 萍	81			
		学生の自主性を尊重したレポート作成の授業ー社会科学系の学部日本語教育ー	伊藤 恵美子	91			
		台湾における「謙譲語表現」の指導法について 東呉大学日本語学科日語部の学生を例にして	尾崎 学	104			
54	2008年11月(平20)	開校60周年記念特集		1~38	財団法人言語文化研究所	三協印刷株式会社	
		寸言 小学校外国語活動を真剣に考えよう	平高 史也	40			
		エジプト人日本語学習者に対する音声教育ーアラビア語カイロ方言の特徴と日本語の破擦音の指導ー	Hanan Rafik Mohamed	42			
		台湾における「日本語能力試験」の利用現況とその及ぼす影響	呂 惠莉	55			
		中国広東省の大学における外国語教育としての日本語教育ー日本語学科のカリキュラムの現状ー	金 華	72			
		『日本語教育研究』第1~54号 目次一覧		87			
55	2009年10月(平21)	新しい 理念・ビジョン			学校法人長沼スクール	三協印刷株式会社	
		「学校法人長沼スクール」の発足にあたって	堀 道夫	1			
		日本語教育史の中の「財団法人言語文化研究所・長沼直兄・日本語教師連盟」	長谷川 恒雄	2			
		第22回 学内発表会		38			
		寸言 京都日本語学校と東京日本語学校	西原 純子	40			
		CLILと問答法ーJLPT4級程度における実施例ー	竹下 利明	42			
		台湾人日本語学習者の作文に見られる格助詞の誤用についてー初・中級学習者における追跡調査ー	呉 佳蓁・王 敏東	58			
		コミュニケーションにおける言語行動の相違ー日中対照ー	王 源	75			
		中国の日本語専攻大学生が持つ学習ビリーフについてー中国南方A市における量的、質的調査を通してー	葛 茜	82			
		タイでの経験をめぐるエッセイー日本語教育に活かせる異文化体験を探るー	長村 涼子	98			
56	2010年5月(平22)	新しい 理念・ビジョン			学校法人長沼スクール	三協印刷株式会社	
		ビジネス日本語の理論と指導法の研究	高見澤 孟	1			
		寸言 「できる・できない」から「できるようになったよ」へ	柳澤 好昭	28			
		日本人の「世間」意識についてのー考察	新井 芳子	30			
		客観的オーラルコミュニケーション・テストについてージェトロビジネス日本語テスト(BJT)の「定型質問テスト」の有効性に関する考察ー	Liao Chuan-hui	71			
		中国の大学日本語教育におけるピア・レスポンスの有効性ー中上級学習者の作文プロダクトに対する教師評価からー	劉 娜	79			
		エジプト人日本語学習者に対する音声教育ー「拗音」と「直音」の混同の問題点とその指導ー	Hanan Rafik Mohamed	93			
		ノンネイティブ日本語教師としての私	ダニエーラ・スタービレ	110			
		日本語教育文法の見直しー受身の談話機能を例としてー	サウエットアイヤラム・テーウィット	117			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
57	2011年9月(平23)	新しい 理念・ビジョン					
		1942年・1943年における長沼直兄の出版計画	河路 由佳	1	学校法人長沼スクール	三協印刷株式会社	
		寸言 「教師＝教える人」の危うさ	鈴木 潤吉	18			
		日本語教育におけるディクレクシアの事例研究	西村尚、谷津裕子 他	20			
		TBLT(Task based Language Teaching)による教材を用いた実験授業報告	杉本美穂、杉山ますよ 他	42			
		異なる日本語学習者による日本語のオノマトペに対する感覚評価	王 瑩	65			
		「詫び」と「理由説明」から見た断り行動	王 源	83			
		ディベートのフィードバックにおける日本語学習者の気づきの分析	佐藤 紀美子	94			
		台湾人日本語学習者の敬語学習における情意的意識とその学習成果に関する一考察	鄧 暁海	109			
		学習者のヘッジ使用OPIにおけるレベル別会話分析	山川 史	124			
		異学年で参加する協働型実習におけるコーディネーターとしてのふり返りと考察	池田 広子	143			
		インドネシアの日本語指導者の漢字指導に関する問題点	ルッシー・ノファリダ・リドワン	156			
		韓国・初級日本語会話テキストに含まれるカタカナ語調査	長谷川 由美	172			
58	2012年10月(平24)	長沼直兄の戦前・戦中・戦後	河路 由佳	1			学校法人長沼スクール
		『たより』に見る戦後期の東京日本語学校	三門 準	25			
		日本語を教えるとはどういうことか(1)	大河原 尚	51			
		異文化理解としての中国の「官」・「文人」の結びつきと「面子」について	新井 芳子	61			
		台湾の大学における敬語表現教育の現状報告	尾崎 学	79			
		日本語学習者の卒業論文に見られる問題点の一考察	金 華	102			
		中国の日本語専攻生における日本人のイメージ	金 玉花	112			
		韓国人日本語学習者における日本語破擦音「ザ・ゾ・ツ」と「ジャ・ジョ・チュ」の習得状況	全 娟姝	125			
		JFL環境の日本語学習不振者の学習状況とその心理	陳 文敏	141			
		iPhoneを使ったカタカナ語学習アプリケーション開発に向けて	長谷川 由美	156			
		相互行為参加能力としての日本語	山川 史	180			
		中国人日本語学習者は聴解ストラテジーに対してどのようなビリーフを持つのか	芦 暁博	192			
59	2013年10月(平25)	浅野鶴子の問答法－亜細亜大学での講演を中心に－	三門 準	1	学校法人長沼スクール	三協印刷株式会社	
		日本語を教えるとはどういうことか(2)－「できる」とは何か:「巧みさ」としての日本語運用－	大河原 尚	19			
		「日本語教育」とソフトパワー	松永 利高	38			
		日本語母語話者と台湾人日本語学習者における日本語の敬語使用基準に関する一考察－大学関係の相手についての調査結果を中心に－	鄧 暁梅	51			
		[事例報告]中国の日本語教師研修における実践の批判的ふり返り活動－ファシリテーターの学びの考察－	池田 広子	68			
		[研究ノート]日本語能力試験の成績高低群からみる学習ストラテジーについて	金 玉花	85			
		[研究ノート]形態的に対立する自動詞・他動詞の微表の位置関係	渡辺 裕司	98			
		[報告]韓国の日本語教育事情・語学堂での韓国語学習体験	中村 いづる	109			

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
60	2014年11月(平26)	巻頭のことば「初心に戻る」	長沼 一彦	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		長沼メソッドの源流をたどって	鈴木 潤吉	3			
		日本語を教えるとはどういうことか(3)	大河原 尚	20			
		テレビ会議システムを通じた日本語の日米交流授業における学びの考察	河路 由佳・栗田 香子	43			
		ハワイにおける日本語学習者の学習動機について	長谷川 由美	58			
		中国の大学専攻日本穂教育における敬語教育に関する研究	任 麗潔	72			
		中国の大学の日本語教育における慣用句の扱い	金 華・鄧 娟娟	97			
		アラビア語を母語とする日本語学習者の母語の聞き取り	水谷 梢太	114			
		表現意図を活かした敬語表現の符号化の指導について	尾崎 学	133			
		[実践研究]中国の大学の精読授業における協働学習の試み	金 玉花	160			
		[研究ノート]慣用表現「気にする」と「気になる」の意味分析	王 珍妮	178			
		長沼スクールだより		193			
		[実践報告]生活に密着した「場面別中級漢字クラス」	石川 和佳	194			
		長沼スピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		205			
第71回 日本語教師夏季集中セミナー開講報告ほか		211					
61	2015年11月(平27)	[長沼スクール特別講座]Oral Proficiency Interview(OPI)は口頭能力をどうやって測るのか。さらにOPIでは文化能力を測れるのか	牧野 成一	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		ドナルド・キーンを導いた長沼直兄『標準日本語讀本』—同時期の教科書との比較を通じた考察—	河路 由佳	36			
		ウェブサイトを活用した教師向けワークショップの試み—授業や活動をコーディネートする力の養成を目指して—	石井容子、川嶋恵子他	53			
		基本色彩語「黒」の比喩的拡張における日中対照	周 萍萍	67			
		[調査報告]長沼スクール中上級日本語授業における教師の質問に対する学生者の意識調査	王 棟	79			
		長沼スクールだより					
		[実践報告] EJU『記述問題』教材づくり実践報告	東京日本語学校 進学科 記述問題対策プロジェクトチーム	106			
		学生を主体的にする読解授業の試み	高橋 えるめ	116			
		長沼スピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		122			
第72,73,74回 長沼スクール日本語教師集中セミナー・対照言語講座・特別講座開講報告		127					

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
62	2016年10月(平28)	[長沼スクール特別講座]全米外国語協会(ACTFL)の読むプロフィシエンシーとその判定法は何か？そして、プロフィシエンシーを高めるためには何をすべきか。	牧野 成一	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		長沼メソッドの源流をたどって—ハロルド・E・パーマーのオーラル・メソッド(2)—	鈴木 潤吉	38			
		日本語を教えるとはどういうことか(4) —「できる」の再考:日本語運用の5つのレベル—	大河原 尚	63			
		日本人と中国人は場面の捉え方がどのように異なるか—「助言」に対する断り行動を中心に—	王 源・山本裕子	82			
		話しことばにおける縮約形に関する研究—ドラマと日本語能力試験の考察を中心に—	呉 岳樺	100			
		長沼スクールだより		117			
		[授業研究]活動型授業「自分史スピーチ」の学習動機付けへの有効性 —二つの学習者グループを比較して—	升岡 香代子	118			
		長沼スピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		134			
		第75,76,77回 長沼スクール日本語教師集中セミナー・対照言語講座・特別講座・OJAD講習会開講報告		139			
63	2017年10月(平29)	[長沼スクール特別講座]日本語の「声」—受動態、自発文、敬語文、可能文の分析を通して—	牧野 成一	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		日本語学習者および教師への学習ツールに関する調査—デジタル時代の教師の役割とは— (報告)	渋谷裕子・清水由貴子	34			
		中国人日本語学習者における学習成績への原因帰属についての縦断的研究	王 俊	51			
		学習者の産出記述からの問題点の抽出と指導内容の探究—ビジネス日本語メールを基にして—	尾崎 学	71			
		長沼スクールだより		93			
		長沼スピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		95			
		第78,79,80回 長沼スクール日本語教師集中セミナー・対照言語講座・特別講座開講報告		104			
64	2018年12月(平30)	創立70周年に際して	長沼 一彦	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		[長沼スクール創立70周年記念講演]日本語・日本人・日本文化 ～日本語教育の意義を考える	近藤 誠一	3			
		[長沼スクール特別講座]省くか、繰り返すか、それが問題だ。	牧野 成一	27			
		日本語を教えるとはどういうことか(5)—日本語教育の目標と「21世紀型スキル」—	大河原 尚	76			
		大類学生募集制度の日本語学科への影響についての考察— 浙江師範大学における事例研究 —	王 俊	95			
		中国人日本語学習者における日本語の母音/a/と/e/の産出— 後続音の影響に着目して —	李 恵	112			
		長沼スクールだより		131			
		ビジネス日本語教材『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』の開発と実践		132			
		長沼スクールスピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		139			
		第81、82回 長沼スクール日本語教師集中セミナー第32回 対照言語講座、特別講座 開講報告		149			
65	2019年12月(令1)	ベトナム語と日本語の貸借表現	柳澤 好昭	1	一般社団法人長沼言語文化研究所		三協印刷株式会社
		中国人日本語学習者の受身文の習得及び教科書分析	葛 茜・王 新新	9			
		SNS音声メッセージ機能を活用した交替反応時間の長い発話環境の実態	譚 笑	34			
		敬語表現の書き誤りの原因の追究	尾崎 学	51			
		中国の大学の日本語教育現場における反転授業の実態とその課題	金 玉花	69			
		中国の高等教育機関における選択科目初級日本語の履修者の学習動機に関する縦断的調査	王 俊	94			
		アラビア語ナジュド方言を母語とする日本語学習者の日本語母音発音に関する一考察	水谷 梢太	112			
		日本人日本語教師の媒介語使用に関する実態調査	顔 幸月	131			
		話し言葉と書き言葉における副詞の違い	島崎 英香	151			

「日本語教育研究」バックナンバー

2017/10/24現在

号数	発行年月日	題名	執筆者	開始頁	編集者	発行人	印刷所
		母語によるピア・レスポンスが「論理的表現力」に与える効果	趙 超超	170			
		[実践報告]初級後半クラスでの反転授業の試み	町田 絵美	191			
		[調査報告]ネパールにおける日本語教育の実態	引田 梨菜	210			
		長沼スクールだより		229			
		長沼スクールスピーチ大会優秀賞受賞スピーチのご紹介		231			
		第83・84・85回長沼スクール日本語教師集中セミナー 第33回対照言語講座、特別講座開講報告		242			